地域に根差す

青葉消防団通信

2015.07
Vol.01

みんなの街の消防団を大解剖!!
青葉区第１分団、団員紹介
消防団、春の活動記録

消防団員
募集中!!

特集
こんなにあるんだ～!!
消防団員装備・活動服いろいろ♪

祝 みんなの街の消防団を大解剖 !!

読んで納得 !! 消防団て何だろう？を解決しちゃいます !!

消防団通信、第１回目は、青葉消防団第一分団の団員をご紹介します。

青葉消防団長　徳江 傳三

地域の皆さまには、平素から消防団活動への御理解・御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。
さて、本年は青葉区制２０周年を過ぎ、２１年目の新スタートを切る年でもあります。
平成２３年３月の東日本大震災の発生をうけて、「消防団充実強化法」が公布され、消防団は地域防災の中核として欠くことのできない存在として位置づけられました。
そうした中で、当消防団の充実強化をすすめるとともに、大規模災害に備えて地域とのつながりをより確かなものにしていかなければなりません。
そこで、青葉消防団では、より「地域に根差す」ことを目指して、消防団通信を発行することといたしました。
この通信が、消防団員や消防団活動を皆さまの身近なものにさせ、地域防災力の強化に資することとなれば幸いです。

一分団長　横溝 尚樹

青葉消防団第一分団は、青葉区北部を担当管内として１０個班で構成され、現在、女性消防団員９名を含む１６３名が在籍しています。実際の火災出場のほか、訓練や器具点検、防災指導・救命講習等の活動に従事しております。また、一昨年の横浜市ポンプ操法大会に出場し第２位となり、横浜市代表として昨年の神奈川県大会にも出場いたしました。
今後とも、地域の防火防災に尽力する所存でありますので、どうぞ皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

第一分団・１班から 10 班の団員達です !!

１班

防災活動や地域イベント等、幅広く活動してます

２班

入団３ヶ月、災害対応、救命講習を受講しました

３班

地域の安全・安心のために全班員で日々頑張っています

４班

普段は少し緩め、いざという時はまとまって頼りになる

５班

〝真剣に誠実にそして楽しく〟を心掛けて活動しています

６班

皆で力を合わせて、地域のために頑張っています

７班

『地域防災は地域の人で』その使命感が共助となります

８班

細い道でも、この軽消防車でスイスイ活動できます

９班

地域の安心・安全のため、頑張って参ります！

10 班

いつも班員の笑顔がたえずとても賑やかです♪

あなたの地域の消防団はどこかな ??

第一分団管轄区域

第１班　美しが丘西一～三丁目（北部）・元石川町（北部）
第２班　美しが丘四丁目・元石川町（東部）
第３班　荏子田一～三丁目・あざみ野四丁目（西部）・元石川町（南部）
第４班　あざみ野一丁目（北部）・あざみ野三丁目～四丁目（東部）・美しが丘五丁目
第５班　新石川一～四丁目・あざみ野一丁目（南部）～二丁目
第６班　荏田町（北部）・あざみ野南一～四丁目
第７班　荏田町（小黒）・荏田西一～二丁目・荏田北一～三丁目
第８班　荏田町（一部）・荏田西三～五丁目
第９班　美しが丘一～三丁目
第 10 班 すすき野一～三丁目・もみの木台・美しが丘西三丁目（南部）

消防団員装備・活動服大公開

特集

地域のイベントや防災指導、救命講習などの際の活動服

活動帽

オレンジの『YOKOHAMA』の文字に、防団の徽章その下にシルバーで『消防団』の文字

階級章

それぞれの階級に応じた布製の階級章

所属

黒の下地にオレンジの文字で『青葉消防団』

作業服

横浜の青い空と海を回想させる清潔感ある水色の上下の活動服

救命胴衣

保安帽

防寒活動衣

寒い冬でも大丈夫！！

救急バック

応急手当ができる三角巾、ガーゼ絆創膏などが入っています

耐切創手袋

携帯無線機

災害活動の際に団員同士の情報を共有するために使用します

防塵マスク

防塵めがね

風水害等の災害時における装備

救命胴衣

今年度より団員全員に貸与された救命胴衣は、局地的な大雨や台風等による河川の増水時や、アンダーパスの水没により車内に取り残された人の救助の際に着用します

保安帽

消防活動中の衝撃から頭部を保護するヘルメット、真っ白で遠くからでもとても目立ちます

防塵めがね

今年度より団員全員に貸与された防塵メガネは、塵や埃、破損したガラスの飛び散りから目を守るためのゴーグル。
災害活動の際の必須アイテム

水防衣

災害は場所と時を選ばずにやってきます。
強い風雨の中でも、青葉区民のみなさまの安心・安全を見守ります。遠くからでもはっきりと消防団員だとわかるように黄色になっています

耐切創手袋

今年度より団員全員に貸与された耐切創手袋は、耐切創性、耐熱性に優れた手袋。
団員の手の受傷危険を和らげます

編上靴

帯電防止機能と耐踏抜性能のある安全靴。
足のつま先まで気を配るため、常に磨いてピカピカです

消防団研修・講習

新入団員研修

４月１９日（土）青葉消防署において新しく青葉消防団に入団した団員に対しての研修が実施されました。この研修では、消防団員の職責と心構え、消防団の沿革と組織、法律、消防活動に伴う危険要因や災害現場における事故防止対策についての講義があり、その後、規律を身につけ、姿勢を正す動作や敬礼動作を習得する訓練礼式が行なわれました。新入団員は、真剣に研修に取り組み、これから地域に密着した防火・防災の担い手として、また、災害発生時には、消火・救助などの消防活動を行っていきます。

幹部研修

５月１６日（土）消防団の幹部に対する研修が実施されました。この研修は、団長・副団長などの消防団本部、３個分団の分団長・副分団長などの幹部に対して、団員に対する基本訓練の指導力強化を目的としました。幹部としての職責を自覚し、消防団の運営に必要な規律を再確認するため訓練礼式を実施しました。５月としては非常に蒸し暑い気温の中で、額に汗をかきながら訓練にのぞみました。規律正しい青葉消防団の今後の活動にご期待下さい。

上級救命講習

５月２４日（日）上救命講習を行いました。上級救命講習とは、心肺蘇生やＡＥＤ（自動体外式除細動器）、異物除去、止血法、小児・乳児の心肺蘇生、傷病者管理、外傷の応急手当、搬送法などを１日（８時間）かけて学ぶ講習です。当日は、応急手当指導員の資格を持つ消防団員が指導者となり、受講者の団員に熱のこもった指導が行われました。その結果、全員が上級救命講習の修了証を受け取ることができました。今後は、応急手当指導員の資格を持つ団員や上級救命講習修了の団員が地域で行われる普通救命講習や救急教室に積極的に出向き、応急手当普及活動を行っていきます。

班長研修

青葉消防団は３個分団、各分団はさらに全部で２４の班に分かれていて、それぞれ受持ち管内があり、より地域に密着して活動をしています。

５月３１日（日）その班長が集まり班長研修が行われました。この研修では、災害発生時に団員間で災害状況等を共有するために配置されている携帯無線機の取扱い訓練を行いました。実際の災害をイメージしながら訓練できるように、横浜市内で発生した災害の写真を使用して、より実践的に行われました。このように日々絶え間ない訓練を継続して、いつ起こるかわからないあらゆる災害に備えています。

消防団員募集中

消防団は、普段は自分の職業や学業を持ちながら、平常時には地域の防火・防災の担い手として、また、災害発生時には、消火・警戒などの消防活動を行い、地域の防災リーダーとしての役割を担っています。

近年、消防団員数は減少傾向にあり、高齢化も進んでいることから、将来の担い手となる若い団員の確保に取り組んでいます。

今後、区内企業の社員の方々や大学生に入団を呼びかけ、消防団の活性化に繋げるとともに地域防災体制の一層の充実を図っていきたいと考えています。

●入団資格は…

消防団員の身分は、特別職の地方公務員です。

年齢 18 歳以上で、かつ、横浜市青葉区に居住、勤務、在学のいずれかが当てはまる人であれば、男女問わず入団できます。実際に学生の消防団員も活発に活動しています。また、普段の活動は夜間、土日が中心です

青葉消防署 庶務課
045-974-0119

勇気を出して!!
あなたのご応募、お待ちしております!!